

学校図書館運営支援員事業

Q 学校司書とは、どんなことをする人ですか？

A 学校の先生と連携して、図書館の環境美化や本の貸出し業務を行ったり、学習のための資料を準備したりする人です。本の読み聞かせなど、本や読書に対する興味を高める活動もしています。

また、勤務は週に2～3日、1日4時間程度です。図書館の開放時間や関係の授業など、学校の事情に合わせて、支援活動を行っています。



Q 何人くらいいるのですか？

A 82人います。松山市内には小学校が53校、中学校が29校あり、1校に一人、学校司書がいます。(R8.4.1時点)



☆☆☆ 学校の先生と連携してつくりあげた すてきな読書空間です ☆☆☆

子どもたちの関心をひき、思わず足を止めてしまうほど魅力的な図書館です。



コンピュータで情報検索ができる図書館もあります。また、本の管理は、すべてコンピュータで行っていますが、これも学校司書の仕事です。



工夫のある掲示物で、分類の仕方も楽しく学べます。

松山市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」や「まつやま子ども読書活動推進計画」などにに基づき、平成12年度から、市内各小中学校に学校図書館運営支援員(有償ボランティア)を配置してきました。令和8年度からは、学校司書(会計年度任用職員)として配置することで、今まで以上に主体的に子どもたちの読書活動を推進したり、学校図書館を運営したりしていきます。